



本じゃなく今は歩いてメール読む

作/樋口幸美

2012年 10月

題 読む

[樋口幸美さん]

二宮金次郎を真似て、本を見ながら通学した時代の人間です。ところが今は…。時の流れを痛感します。

[西沢まもるの一言]

読書はやっぱり紙の本ですよ。私も今、『スマホ』に挑戦してはいますが、投げ出すのは時間のモロダいです。



2012年 7月
題 暑い

作/ジャーナリスト

[ジャーナリストさん]

自然はコントロールできません。しばらく「夏寒く、冬暑い」生活でしたが、震災を機に昔の生活に戻れるチャンスでした。

[西沢まもるの一言]

昔の人は、ガマン強かった！でも、マンモスは熱中症で絶滅したのかも？



走る度 二段腹がリズムとる

作/倉ちゃん

2012年 4月

題 走る

[倉ちゃんさん]

イチニイチニ、かけ声と共にゆるお腹、私の大事な一部分。春のうたを口ずさみながら、これからよろしくと伝えていきます。

[西沢まもるの一言]

私事ですが、終戦直後、空腹のとき水を飲んでガマンしました。走る腹の中からポチャン、ポチャンと音がしました。



初夢を子ネコも見ている笑ってる

ま。

作/荒井照子

2012年 1月

題 夢

[荒井照子さん]

娘の大切な子ネコは、遊び疲れて熟睡。「初夢」に幾度も微笑みながら。今年初のニャンとも言えぬ幸せでした。

[西沢まもるの一言]

私はイヌ派のつもりでしたが、この頃はネコも可愛いなァと思います。かなりブレイクしています。



2012年 11月
題 働く

作/ふきのとう

[ふきのとうさん]

新開地三年目。今年も沢山野菜が採れました。秋の澄み切った青空と赤トンボの乱舞は、良く働いた御褒美です。

[西沢まもるの一言]

「ごくろうさん、おつかれさん」と言いながら、赤トンボが飛んでいます。きっとそうです。



どの灯にも温みがこもる里の夜

作/田野原信治

2012年 8月

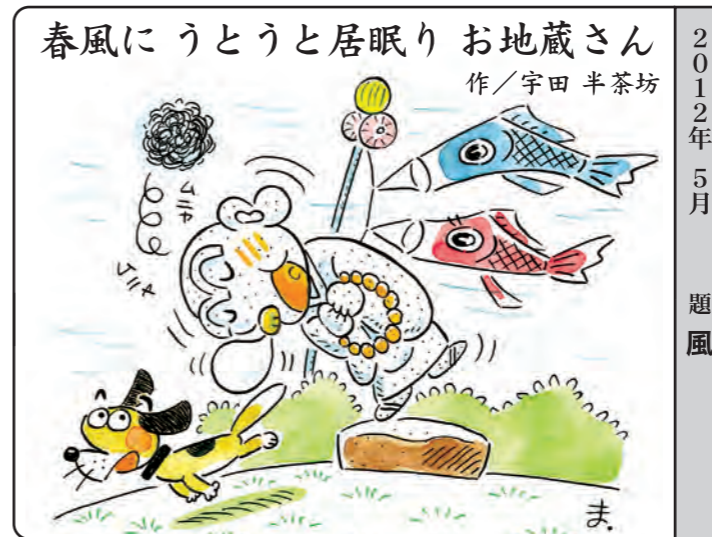
題 里帰り

[田野原信治さん]

日ごろ、しずまる明かりもふるさとへの帰省などで、かつでの賑わいと灯に温もりの再現を感じさせています。

[西沢まもるの一言]

どの家も楽しい夕餉どき、それなのに自分は…。なんてさみしくなったりして。



春風にうとうと居眠りお地蔵さん

作/宇田半茶坊

2012年 5月

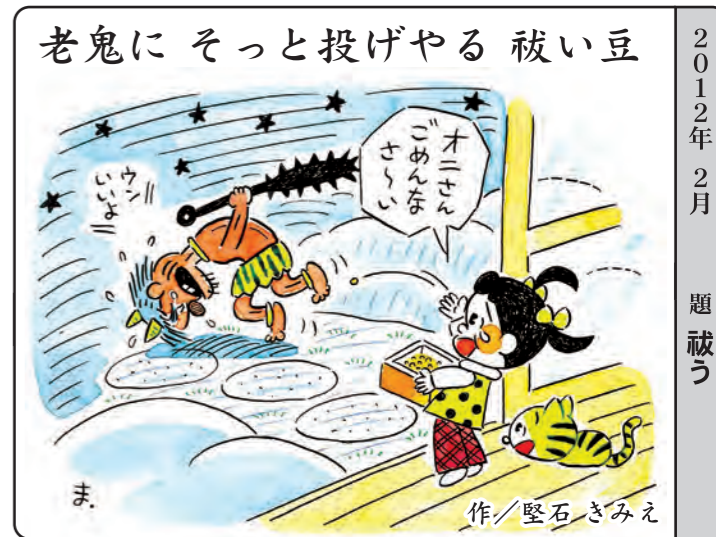
題 風

[宇田半茶坊さん]

五十年ほど前に、美空ひばりさんが歌った「花笠道中」を口ずさみながら、一句ひねってみました。

[西沢まもるの一言]

やっと訪れた“春”。うれしさが溢れていますね。今年の冬は長かった…。



老鬼にそっと投げやる被い豆

作/堅石きみえ

2012年 2月

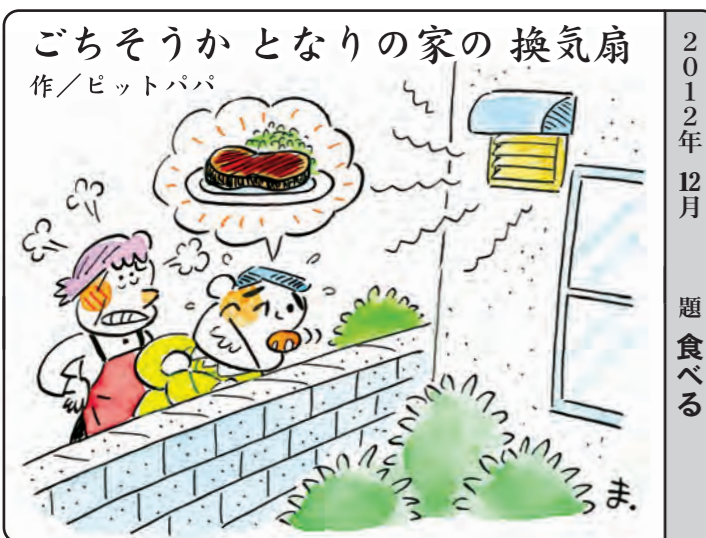
題 被う

[堅石きみえさん]

私が年寄りの鬼だったとしたら、もう悪い事も出来ないで、せめて豆はやさしく放って欲しい。という気持ちで詠みました。

[西沢まもるの一言]

追い出されたハダカノ鬼は、冬をどこで過ごすのでしょうか。余計な心配をさせていただきますね。



ごちそうかとなりの家の換気扇

作/ピットパパ

2012年 12月

題 食べる

[ピットパパさん]

おいしそうない匂いって、人を幸せな気分させますよ、ね。つついっような想像もしちゃったりして…。

[西沢まもるの一言]

近所からスキヤキの匂いがただよってきたりしたら、塩分・糖分制限の身にとっては、ジゴクなのであります(泣)。



つまづいた転ばなかったよろこんだ

作/山野草

2012年 9月

題 老い

[山野草さん]

左眼の神経を痛めてから、転ばない事に気配りする毎日です。骨折だけはしないために。

[西沢まもるの一言]

もしかして、転んだが最後、寝たきりになったかも。それが助かったんだもの、うれしいですね。



夫婦ってどこか似てくる摩訶不思議

作/チャトラン

2012年 6月

題 結婚

[チャトランさん]

見合いで結婚、危なげな二人で珍道中を続けて四十年。似た者夫婦とはよく言ったものですね。

[西沢まもるの一言]

けっこう「似たもの」夫婦っていますよね。うちの場合はどうかな？



孫に宛て送るメールに一時間

作/いってん

2012年 3月

題 送る

[いってんさん]

孫を喜ばせようと、慣れない絵文字を使ったりで、かれこれ1時間…。年寄りにはひと仕事です。

[西沢まもるの一言]

メールの相手が待っている…。となると、あせってしまいますよね。「ハイ」とか「イイヨ」とかにしましょう。